



Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー
2019年9月号 / vol.6
interviewer : 白戸 健
photographer : Sin Gim
Dtp : Yu-ryu-

SWING からふるバザール



7月30日、地下鉄泉中央駅ビル SWINGにて「SWINGからふるバザール」が行われました。福祉事業所を含めた計14店舗が出店しました。ケーキやパンなどの食べ物から、占いなど多種多様な出店があり、合間に女性パフォーマーによるパントマイムのステージがありました。Aiでは、スタッフも店頭に立ち、オリジナルTシャツやグッズを販売しました。

仙台七夕祭りの出店



8月6日から8日、仙台七夕祭りで Aiは一番町4丁目アーケード内でカラフルなわたあめを販売しました。

前準備からわたあめ作り、そして販売までと初めてのことでしたがスタッフ、パートナーみんな一緒になって、おかげさまで3日間で343個を完売することができました。

チャリティー・アート・タンブラー



8月6日～18日までの期間、東北電力グリーンプラザアクアホールにて、「JAGDAつながりの展覧会」が開催されました。障害のあるアーティストの作品ライブラリー「エイブルアート・カンパニー」登録作品からJAGDA会員デザイナーが作品

を選び、デザインしたタンブラーが展示販売されました。動物の絵を描いた作品やつけまつげを描いたものまで、たくさんの作品がありました。

74名のアーティストの中に清水敬太さんが選ばれました。お客様と一緒に清水さんの作品をプリントしたカードを使っのワークショップ、デザインカード作りに参加しました。

Ai 本祭に向けて



10月、長町にて開催する Ai 本祭の練習風景です。本番に向けてスタッフみんな、日々練習を行っています。まだまだ練習不足ですが、これからますます熱が入っ

て、本祭当日にはお客様に披露できるよう頑張っています。

オモテの作品

Artist : 清水敬太

2012年から本格的に絵に取り組み始めた清水敬太さん。作品がエイブルアートカンパニーによって商品化されるなど、すでに高い評価を得ています。

みんなと一緒に、新しいことにチャレンジ！

Aiではお互いにフラットな関係を築けるよう、親しみを込めて職員をパートナー、利用者をスタッフと呼んでいます。今回は、河田 綾さんにお話を伺いました。

白戸：Aiでどんなお仕事をされますか？

河田：スタッフさん達のお仕事をサポートすることがメインです。一緒に活動しています。

白戸：Aiに来る前は何をされてましたか？

河田：東北福祉大学で福祉心理学を学んでいました。

白戸：休日は何をしてお過ごしですか？また何か楽しみはありますか？

河田：シーズン中であれば、楽天の試合を観戦します。月に1回のペースで行きます。あとは、好きなアーティストのLIVEに行きます。aiko や、山田祥子さん、元イケメンズの伊東洋平などです。

白戸：Aiでスタッフさんとどんなことをしていきたいですか？

河田：今までやっていなかったこと、新しいことにチャレンジしていきたいです。カリキュラムに新しく書道が追加されて、自分も習っていたのでそれをサポートしていければいいです。



パートナー 河田 綾さん
東北福祉大学卒業。
大学時代、2店舗にまたがって計4年間、居酒屋でホール担当のバイト経験を持つ。

想像の範囲を超えた表現に感動。

アートな福祉事業所 Ai ファクトリーの特徴でもある多様なカリキュラム。今回はクリニカルアートの時間を担当されている、小野寺良枝先生にインタビューしました。

白戸：カリキュラムの時間は何をしていますか？

小野寺：臨床美術（アートセラピー）のプログラム制作活動を行っています。

白戸：その狙いはどういうところにあるんですか？

小野寺：制作プロセスを体験を通して心の解放をしてもらう事と表現の幅を拡げてもらうことを目的としております。

白戸：カリキュラムの時間の中であった印象的だったエピソードを教えてください。

小野寺：月一回の活動ですので、全てが印象（心）に残ります。想像の範囲を超えた表現活動をしてくださる事に毎回感動させて頂いております。

白戸：このカリキュラムで今後、どんな事を伝えていきたいですか？

小野寺：個性がキラキラと輝いている作品ですので鑑賞会を通じて一人ひとりの良いなあ～（私が思った所）と感じたところを言葉で伝えていきたいです。



外部講師 小野寺良枝先生